

施策評価シート

対象事業年度 令和 元 年度

施策2

政策	I 国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	施策推進責任者	企画調整室長・港営部長・建設部長
施策	2 産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	船会社、港湾運送事業者、荷主	意図(どういった状態にしたいのか)	充実した道路ネットワークや臨海部の企業進出用地整備により、既存産業の高度化や新展開、新たな基幹産業の創出を促進し、高い国際競争力をもった新たなものづくりの基盤を形成する港
	サービスの対象物(何を)	道路ネットワーク(臨港道路・広域道路)や臨海部における企業進出用地(物流・産業用地)など		
展開	西部地区(弥富・飛島ふ頭)において、ものづくり産業の物流拠点の形成に向けた土地需要に対応するため、保管施設用地を整備し、分譲をすすめます。 愛知県産業立地推進協議会が開催するセミナーや、ビジネス展示会等に参加し、名古屋港背後地域の企業及び自治体に対して名古屋港のPRを行うなど、名古屋港の利用促進につながる活動を推進します。 リードタイムの短縮や時間信頼性の向上によりものづくり中部の国際競争力を強化するため、港と背後圏を結ぶ道路ネットワークの充実を目指します。 名古屋港内の臨港道路は、中部圏の主要な道路ネットワークに接続し、港湾関係車両等の大型車両が頻りに通行する幹線的な道路です。この港湾物流活動を支える臨港道路を適切に維持管理することで、事故や渋滞をなくし、通行車両の安全かつ快適な走行を確保します。			

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名(担当課名)	成果目標名【指標型】	元年度実施事業に基づく評価結果			元年度の状況	2年度以降の方向性		事務事業の方向性を判断した理由・目標年次の変更等の理由等
			29年度	30年度	元年度		成果	コスト	
施02事01	西部地区埋立地の分譲(管理課)	第2貯木場分譲地の分割までの進捗状況(全3工程)【進行管理型】	1工程	1工程	1工程	3工程(累計)	維持	維持	埋立地の分譲に向けて、今後も継続していく必要があるため。
			4,890千円	4,610千円	27,831千円	5年度	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
施02事02	弥富ふ頭第1貯木場北側埋立整備事業(事業推進課)	護岸整備延長【進行管理型】	546m	546m	546m	840m(累計)	維持	維持	物流用地の確保に向けて、着実に事業を進めていく必要があるため。
			2,264,360千円	3,203,635千円		4年度	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
施02事03	名古屋港背後地域への企業誘致(誘致推進課)	企業立地担当者新規訪問数【単年度管理型】	15件	19件	15件	15件	縮小	縮小	名古屋港の取扱貨物量の増加のために継続して実施していく必要がある施策ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の事業実施が困難な状況であるため、成果・コストを縮小とします。
			8,448千円	8,470千円	8,534千円		資源(財・人)の投入を縮小し、一時的に取組を縮小する。		
施02事04	道路ネットワークの整備促進(計画担当)	要望活動等の実施【単年度管理型】	7件	12件	8件	8件	維持	維持	道路ネットワークの整備促進に向けて要望を継続していく必要があるため。
			10件	11件	12件		取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
			0千円	0千円	9,174千円				
施02事05	臨港道路の維持管理(港湾管理事務所)	損傷等に起因する事故件数【単年度管理型】	0件	0件	0件	0件	維持	維持	良好な臨港道路を保つには現在の事業規模を確保する必要があるため。
			0件	1件	0件		取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
			46,768千円	49,153千円	277,997千円				
		施策コスト(合計)	60,106千円	2,326,593千円	3,527,171千円				

3. CHECK(成果目標の状況・元年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等	年度			目標値[5年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
		29年度	30年度	元年度		
企業立地面積(第1貯木場埋立地)	目標値	ha			6.8	・土地分譲については、随時問合せを受け付けており、背後地域への企業誘致も実施しているものの、土地利用計画に適合する立地企業は現れず、分譲公募に至りませんでした。
	実績	ha	4.9	4.9	4.9	
企業立地セミナーやビジネス展示会等で名古屋港のPRを実施した企業・団体数	目標値	社・団体			320	・令和元年度に企業立地セミナーやビジネス展示会等で名古屋港のPRを実施した企業・団体数は、目標値をやや下回りました。これは、令和2年2月開催のセミナー参加者が、新型コロナウイルス感染症の影響により当初の見込みを下回ったことによるものです。
	実績	社・団体	269	320	301	

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)	
(見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入)	
適正	見直しが必要

4. ACTION(課題・2年度以降の取組方針)

元年度に取り組んだ内容	課題	2年度以降の取組方針
<b>事務事業01 西部地区埋立地の分譲</b> 飛島ふ頭第2貯木場埋立地約7.2haについて、事業者からの保管施設用地としては規模が大きいとの意見を踏まえ、外部委託により、需要の多い2haを基準とした分割配置を検討・調査しました。また、それに伴い必要となる道路計画、敷地及び道路の排水計画などにつき、概算工事費も含めて検討を行いました。 なお、令和元年度は、土地利用条件に合致する事業者からの取得意向は確認できず、分譲公募は実施できませんでした。 また、弥富ふ頭第1貯木場南埋立地、稲永ふ頭埋立地については、しゅん工後間もないこともあり、今後の基盤整備に向け土地の保全に努めています。令和元年度は第1貯木場においてしゅん工土砂の揚土やフェンスの設置等を実施しました。	西部地区の分譲地の需要を見極めるため、速やかに分譲面積の分割等について検討を進めるとともに、企業動向の把握に努めていく必要があります。	弥富ふ頭第1貯木場埋立地の未売却の分譲地約2haについては名古屋港の物流拠点として重要な土地であることから、引き続き企業動向の把握に努めながら、土地の需要を見極めていきます。 第2貯木場埋立地の分割については、令和元年度の検討調査により得られた複数の分割案をもとに、事業者の意見を参考にしながら、区画割りや施設の具体的な整備内容について検討を進めていきます。 第1貯木場南埋立地、稲永ふ頭埋立地については、引き続き土地の保全に努めるとともに、順次将来の分譲に向けた基盤整備を行っていきます。
<b>事務事業02 弥富ふ頭第1貯木場北側埋立整備事業</b> 埋立護岸の地盤改良工事及び護岸工事を行いました。	令和7年度の完了に向けて、受入土砂の調整を行いながら、事業進捗を図っていく必要があります。	護岸工事や埋立工事を行い、着実に事業を進めていきます。
<b>事務事業03 名古屋港背後地域への企業誘致</b> I-BACの実施する外資系企業ネットワーク懇談会、愛知県産業立地推進協議会等が実施する産業立地セミナー及び愛知・名古屋産業立地プロモーション事業実行委員会への事業協力に加え、富山県、石川県、福井県及び岐阜県内の企業誘致を推進する自治体に名古屋港のPR活動を実施しました。	名古屋港及び背後地域への企業立地を促進するため、継続的に情報提供を行い、名古屋港の認知度を高める必要があります。また、企業の進出意欲は社会経済情勢に影響を受けるため、企業のニーズを的確に把握するとともに、タイミングを逃さず情報提供をする必要があります。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の事業実施は困難な状況ではありますが、再開後は企業誘致を推進する自治体等に対する名古屋港のPRや企業進出ニーズの把握を行っていきます。特に、多数の企業の進出が見込まれるIC周辺の自治体等を訪問し名古屋港のPRを行うとともに、企業進出ニーズの把握などの情報収集を行っていきます。
<b>事務事業04 道路ネットワークの整備促進</b> 名古屋環状2号線、西知多道路、一宮西港道路及び名古屋三河道路について、愛知県を始め関係者と一体となって、国土交通省等に要望活動を行いました。	引き続き、港湾管理者の立場から道路ネットワーク整備の必要性を要望していく必要があります。	引き続き、愛知県を始め関係者と一体となって、国土交通省等に要望活動を行います。
<b>事務事業05 臨港道路の維持管理</b> 臨港道路の巡視、応急措置、舗装補修を行いました。	臨港道路を良好に維持することにより通行車両の安全かつ快適な走行を確保していくことが課題です。	引き続き、定期的な巡視を行い、損傷箇所の補修を速やかに行うなど事故防止に努めていきます。